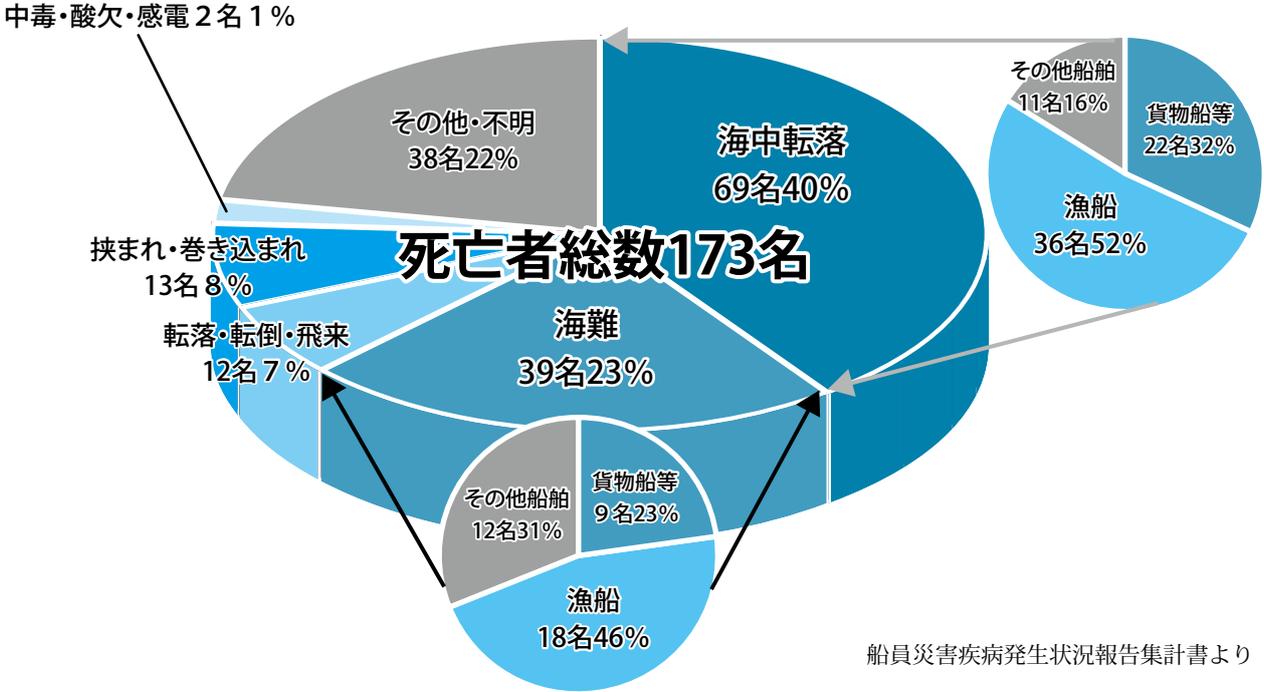


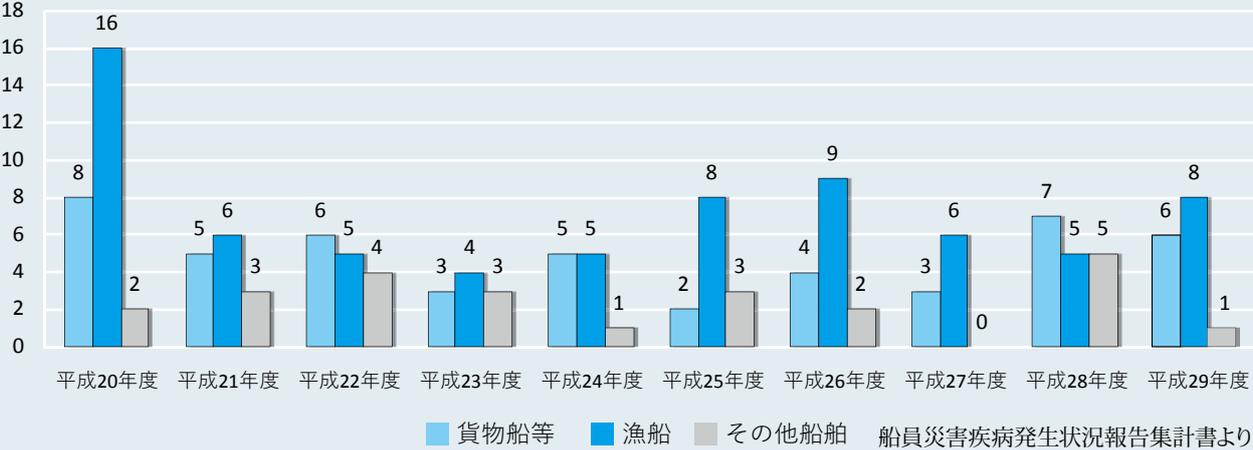
# 船員の死亡災害は海中転落が最も多い

## 死亡災害発生状況 5年累計(H25-29年度)



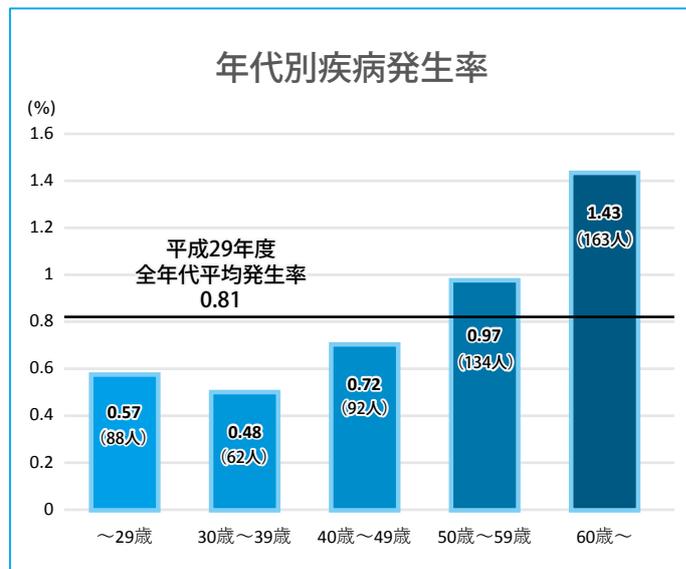
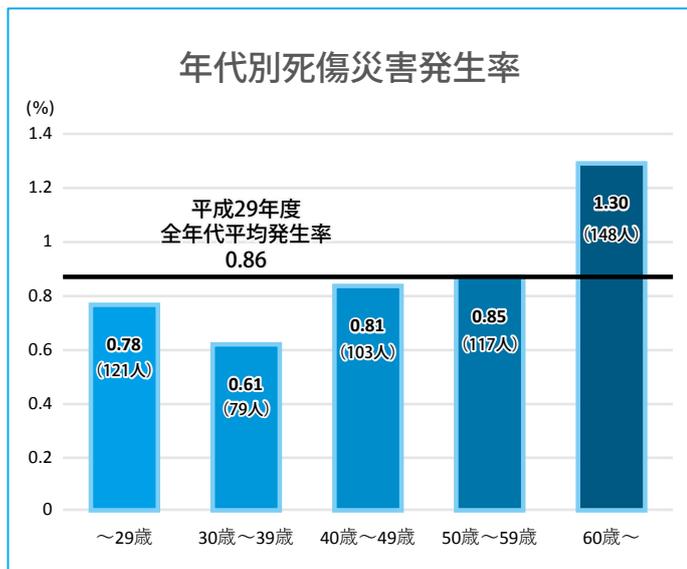
5年間の死亡災害を円グラフで示したものです。なかでも、海中転落による死亡者数は69名40%にもおよびます。海中転落の原因は、「荒天時、波にさらわれた」、「漁具に巻き込まれて転落」、「単独作業中の転落」など、多岐にわたります。また、海中転落、海難ともに漁船での発生が多く、その割合は、海中転落では36名52%、海難では18名46%にも及びます。「救命衣の着用」、「荒天時の操業は控える」、「暴露甲板上での単独作業を行わない」などの安全対策を講じましょう。

年度別海中転落による死亡者数（船種別）



# 高年齢船員の死傷災害・疾病発生

平成31年度船員災害防止実施計画より



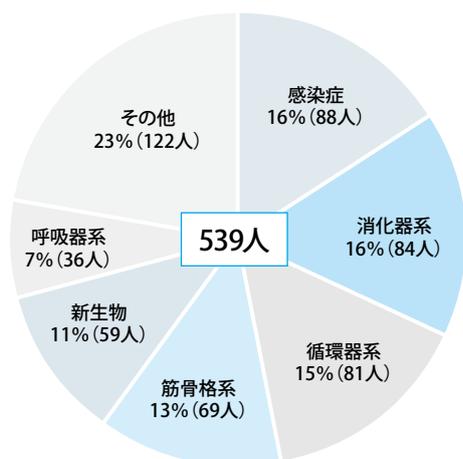
平成29年度の年代別死傷災害発生率では、60歳以上の高年齢船員の割合が非常に高くなっています。その原因として、「加齢による身体機能の衰えから適切な動作がとれなくなる」、「慣れから来る油断」、「自己流の一人作業」などが挙げられます。

まず、自らの体力を把握し、適度な運動を継続して体力の維持・増強に努めましょう。また、他の乗組員とのコミュニケーションを大切にするとともに、慣れた作業でも初心を忘れず、安全第一として業務を遂行しましょう。

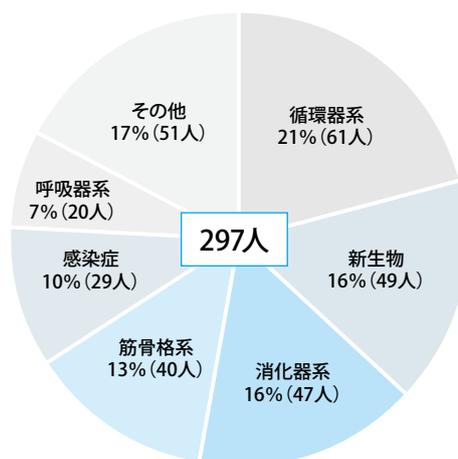
年代別疾病発生率では、50歳代から割合が高くなり、60歳以上で割合が急騰しています。常日頃より、自分の健康状態を把握しておきましょう。

## 全船員と高年齢船員の疾病比較

疾病の種類別発生状況



高年齢船員の疾病発生状況



疾病の種類別発生状況では、全船員で、インフルエンザなどを含む感染症疾患が最も多く、次いで消化器系疾患、循環器系疾患の順に多くなっています。

高年齢船員では、高血圧などの循環器系疾患の発生が多く、次いで新生物（ガン）、アルコール性の肝疾患を含む消化器系疾患が多く発生しています。これらは、いずれも生活習慣病が大いに関わっています。健康のリーフレットも参考にし、健康維持に努めるよう心掛けましょう。